

3月定例会の概要

23年度一般会計予算 修正動議は否決 原案を多数で可決

3月定例会は、3月2日から23日まで22日間の会期で行われました。

議案については、23年度当初予算案などが提案され、一般会計と11の特別会計のほか、企業会計合わせて総額459億2011万4千円の各予算と条例等を審議しました。採決の結果、34の議案と議員発案の意見書2件を可決しました。

また、陳情は、2件を一部採択、2件を不採択、1件を継続審査としました。

23年度一般会計予算

23年度当初予算は、278億1100万円で、前年度の当初予算と比較して15・9%、額にして38億2300万円の増となっています。この原案に対し、議員3名より、修正動議が提出されました。

修正の内容は、大館能代空港利用促進事業費1446万4千円を減額

し、同額を予備費に計上するもので、提出者からは「まずは料金体系と企画商品の話し合いを行うべき。また、大館能代空港利用促進協議会は存在しているが、他市町村との連携が全く見えない。助成すれば利用者が増加するという短絡的な発想ではなく、空港を存続させるために必要

なことは何かを、地域が一体となつて議論する必要がある。本予算は、未来のビジョンが全く見えない中、一時的な対処療法でしかなく、その効果には疑問を感じる。また、今後同じ内容の財政出動が予想され、到底理解できるものではない。」との説明がありました。

これに対して「この内容は、大館能代空港の利用率が低迷する中、秋田空港との運賃の格差解消により利用率の改善を図ろうとする事業である。この改善に向けては、さまざまな考え方や手法があると考えられるが、その1つとして本事業が実施されることで、空港を利用する市民がふえ、そして定着することが期待される。

本予算には、この助成金交付事業も含め、能代市総合計画を着実に推進し、さまざまな市民要望にこたえるための各種予算が計上されていると考える。」との修正案に反対する

意見が出されました。採決の結果、修正案は賛成少数で否決され、原案を賛成多数で可決しました。

主な単行議案

◆**職員の育児休業等に関する条例の一部を改めます**

地方公務員の育児休業等を取得できる対象職員の範囲等を改正します。

◆**市税条例の一部を改正します**

特定附帯設備に係る固定資産税の納税義務者等の規定を追加します。

◆**過疎地域自立促進計画を変更します**

養護老人ホームやまもとの大規模改修事業を計画に追加します。

◆**辺地に係る総合整備計画を変更します**

馬子岱辺地に係る総合整備計画の、林道西ノ沢小滝線開設事業計画を変更します。

◆**畑作振興基金条例を制定します**

畑作農業による地域振興を図るため、25年度までの基金条例を制定します。

◆**道路占用料を改定します**

電柱、電話柱、広告塔などの道路占用料を引き下げます。

22年度一般会計補正予算

補正予算(第14号)は2億4700万円の減額、補正予算(第15号)は4億1007万1千円の追加で、予算総額は267億8766万3千円となりました。

補正予算の主な内容・事業

◆**落合三面球場トイレを整備します**
2668万7千円
落合三面球場に、新たにトイレを整備します。

◆**図書を購入します** 4110万円
小中学校及び図書館の図書を購入します。

◆**東日本大震災の被災者の受け入れを支援します** 4438万円

22年度 特別会計補正予算

- ・簡易水道事業特別会計補正予算
- ・下水道事業特別会計補正予算
- ・浄化槽整備事業特別会計補正予算
- ・常盤財産区特別会計補正予算